

特別寄稿

安全就業に向けて

『自分の身は自分で守る』

兵庫県シルバー人材センター協会では派遣アドバイザーをしています。社会保険労務士の茶園(ちゃぞの)です。

雇用労働の安全と健康を守る「労働安全衛生法」という法律を見張る労働基準監督署という国の機関で労働基準監督官(国家公務員の専門職)を34年勤めました。

労働基準監督官の大事な業務のひとつに**災害調査**というのがあります。これは**仕事**中に仕事の原因で労働災害により、死亡・又はそれに匹敵するぐらいの重大災害が発生した場合、すぐに現地に行つて発生状況・原因などを調べる、というもので、34年の在任中50件以上調査したと記憶しています。

『3mぐらいの高さからバランスをくずして墜落、床面に後頭部を強打して死亡』など、調査した労働災害の多くは、ほんとにあつたという間(魔の一瞬)の出来事でした。そしてどの災害も理不尽なもので、ほんのちよつとしたスキに起こっています。

被災者の誰一人として、その朝出勤するときにこれが最後の出勤だとは思っていませんでした。それが運悪く「瞬間の悪魔」につかまって被災するハメに…。この悪魔はボーとほかのことを考えながら作業している人、あわててよく確認せずに作業している人たちなどを(も

ちろんそのような人たちがすべて被災するわけではないのですが)に目をつけてターゲットにします。

ヤツ(瞬間の悪魔)がターゲットにしないのは、作業に必要な服装、靴、帽子、安全帯などを身につけてきちんとしていたから、自分は大丈夫と思つて手抜きを
している人などは格好の餌食になってしまふかもしれません。

人は年齢と共に目も耳も、そしてとろさの身のこなしも低下していきます。これはあくまで自然の老化現象だから仕方がないことです。ただそのことを正しく認識するかどうかです。それがイヤで「自分はまだまだやれる」と無理をすると、ヤツに付け入るスキを与えることに…。身体が老化していること、そしてちよつとしたケガでも年齢を重ねるほどに重篤化する、ということを正しく

認識して行動することが安全につながります。

自分の身は自分で守つて身の安全を確保しましょう。

私の友人もシルバーで就業していますが、息子と二人暮らしの彼女はいつも「シルバーで働いているおかげで、いろいろな人と話ができるし、身体を動かすし、その上収入にもなるので、二石三鳥です」と楽しそうに話してくれます。

老後を豊かにして、世のために少しでもお役に立ちたいとシルバー就業に励んでおられる会員の皆さん方は、いろいろな経験を積んでおられますし、知識も豊富です。それをうまく生かして(小さな親切大きなお世話にならないよう)そして老化現象をきちんと受け止めて、安全就業を心がけ、豊かな老後を送ってください。

「ご安全にご健康に」

茶園 幸子(ちゃぞの さちこ)プロフィール

- 昭和43年 労働基準監督官任官
- 平成14年 神戸東労働基準監督署長を最後に退官
- その後、コープこうべ顧問・団体の専務を経て
- 平成23年 社会保険労務士事務所開設
- 平成27年 兵庫県シルバー人材センター協会 派遣アドバイザーに就任 現在に至る

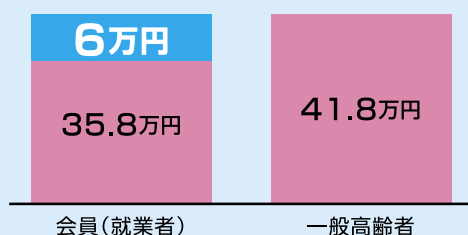


高齢者医療費等の削減に寄与

シルバー人材センターを通じて就業している会員の総医療費の推計値は、**一般の高齢者に比べ年間で6万円少なくなっています**。また、要介護者の減少もみられています。

このことから推計しますと、医療費は約80万人会員全体で年間約480億円、介護保険では年間約37億円、合わせて年間約517億円の医療・介護の財政軽減に寄与しているといえるでしょう。

就業している会員と一般高齢者の年間総医療費の比較(推計値)



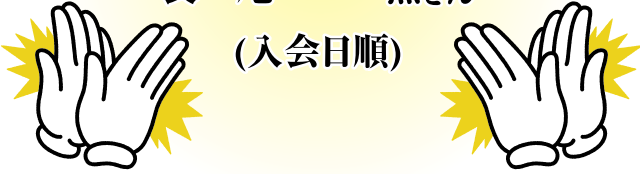
平成18年7月「高齢者の社会参加と健康維持・増進に関する調査」結果より

表彰

10月31日開催の、平成30年度兵庫県シルバー人材センター事業推進大会で、シルバー人材センター事業の発展に特に顕著な功績があった場合、または他の模範として推奨に値する多大な功績があった場合に表彰される(公社)兵庫県シルバー人材センター協会の15年会長表彰を当センターの次の3名の方が頂きました。

おめでとうございます!!

藤原 美佐子さん
東谷 嘉夫さん
長尾 勲さん
(入会日順)



長尾 勲さん

(就業現場での長尾さん)



藤原 美佐子さん

(就業先の別荘を清掃中の藤原さん)



(樹梨理事長から表彰状の伝達を受ける東谷さん)

「表彰を受けて」
『この度は、永年勤続表彰をして頂きありがとうございます、感謝をしております。』
シルバー人材センターで15年の長きにわたり勤めることができたのは、関係者の皆さんの温かいご支援のおかげであると思っています。これからの仕事の励みにしたい。』
と受賞の喜びを話された。
定年退職後は、毎日が日曜の生活のなかで家に居ることが多くなり、十分な体力・健康からも、もう少し仕事があったい、少しでも社会の役にたてられたい。

東谷 嘉夫さん

入会説明会

毎月 第3水曜日
13:30~

事務所(上三草234-1)

お気軽にお越しください!!

ばこの思いから会員登録されました。入会当初の就業場所(工場)では初めての職場で、戸惑いながらの作業であったが同僚の指導や就業先の気配りなどで、スムーズに仕事に溶けこむことが出来て、大変嬉しかったことが懐かしく思い出されますと当時の思い出を語られた。
今でも忘れずに、気配りや丁寧な指導を心がけて仕事をされているとのことである。
元気の秘訣を尋ねてみると、『仕事は健康』をモットーにしている、なぜなら仕事に携わることによる責任感、使命感がほどよい緊張を生み、健康を保つ秘訣となっていると思っているからである。
『これからも、健康に留意して、発注者に安心して、喜んで頂けるように常に心がけ頑張って行きます。』と笑顔で話されました。
(取材:文 編集スタッフN)

ここにもシルバー会員

アウトソーシングによる 市役所での休日受付業務

休日で、静まりかえった大きなフロアで、お客様対応の声が聞こえてくる。

平成27年4月から始まったアウトソーシングによる市役所での休日死亡届受付業務の光景である。

受付書類に必要事項が正確に記入されているか、添付書類に、押印はされているのか、項目毎に細かくチェックをしてゆく。

お客さまには、二度手間にならないように配慮する。受付作業、それが終わると今度は、パソコンを使って関係機関へ連絡する内部作業である。

一度に複数の作業を行うことから、より一層、仕事の正確さが求めら



れると同時に、気配りがいる仕事である。

担当の藤井さん

『事前研修どおりにいかないこともあり、戸惑いもあるが、自分が責任を持って仕事を完遂する達成感、生きがいを感じる仕事です。』と話す。

また、仕事をすすめていく上では、お客様に気持ちよく感じていただくように、「お客さまに寄り添った言葉使いや丁寧な対応をすること」を、日々、心がけて仕事をしていると話された。

日本語をあまり理解されていない

外国の方が来られると、どのように対応をしていくのかなど、難しい課題もある。

アウトソーシングは、従来、単純作業がほとんどであったが、最近ではその業務領域が広がって、さまざまな業務が委託されていることから、私達の長年培ってきたスキルや高度な専門的スキルが求められる業務がどんどん増えてくると考えます。従って、私達の仕事の領域も大きく広がる楽しみもあります。

(取材・写真文 編集スタッフN)



会員：中植さん・藤井さん

スマートフォン講座

初めての取り組みとして会員、または一般向け高齢者スマートフォン講座を開催しました！



講座当日、参加の皆さまは熱心に受講されました。これからも、様々な講座を実施していく予定です。ご要望があれば、事務局までご連絡ください。